

パッションビルド

PASSION BUILD

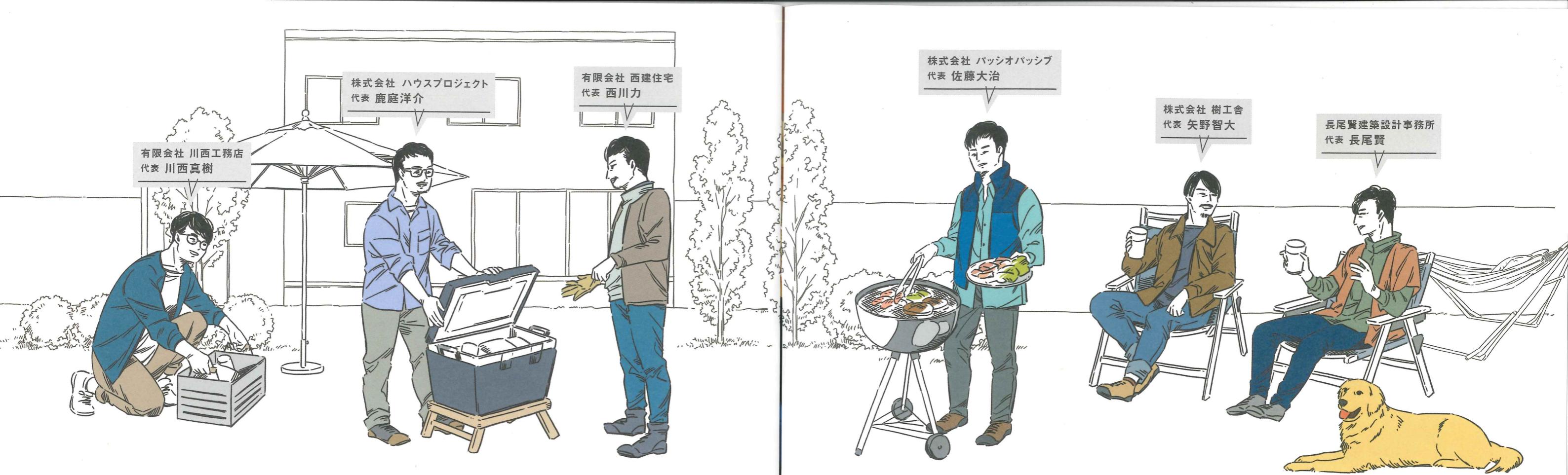
Vol.1

建築に情熱を



家づくりはまちづくり。

志と技術を未来のために



TSEに集まる「いい家を建てる工務店」

性能とデザインの両立を追求する

相対するものではなく、性能とデザインの両立は可能です。お客様が納得するまで打合せをすることも工務店の義務です

志と誇りをもって取り組む

自分たちが使い、自信を持ってすすめられる建材を使います。そして住み始めた後も責任をもって寄り添います

TSEのメンバーは同士

「お客様が思う家づくりに一番フィットする工務店を選んでもらえるように」との思いでつくったエージェントがあります

迷ったら、さぬきエージェントへ

TSEに加盟する工務店の中から、自分に一番合う工務店を見つけるには? そんな時に頼りになるのが「さぬきエージェント」です。TSEの窓口として、建築のプロがエージェントとなり、工務店や設計士をコーディネートします

さぬきエージェント | 香川県丸亀市垂水町 3145-1 tel.0877-28-6195 fax.0877-28-6278

耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る工務店ネットワークかがわ(TSE) | <https://www.tse-kagawa.info/>

建築の力で、街はもっと元気になる

30年後も資産であり続けるような優れた住宅を、できるだけ安く建てることに真剣に向き合い、地域を元気にするために奮闘する人たちがいます。「耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る工務店ネットワークかがわ(TSE)」を組織する彼らは、世界基準の高断熱高気密の住宅を建てる全国的に珍しい工務店と設計事務所の集まりです。

TSEが発足した10年前。すでにドイツをはじめヨーロッパでは、日本の省エネ性能住宅が、当たり前のようになっていた。性能が良いということは住み心地の良さはもちろん、住宅の建設や維持、廃棄に使うエネルギーが最小限で済むということ。それは長い目で見た時にコストが低く、また環境にも優しい住宅であるとも言えます。

当時から諸外国に比べて、住宅においては省エネ基準が低い日本。しかしこれからの未来、省エネ性能住宅は必ず求められるはずと思いついていた人たちがいました。その思いを共有し、結成されたのがTSEです。

TSEの理念は、良質な住宅ストックを増やし地域社会を豊かにすること。例えば地元の木を積極的に使い林業を元氣にすることも含まれます。香川県内でその理念に賛同する工務店が増えてくると、それぞれの強みを共有しあうに建設されていました。性能が良いということは住み心地の良さはもちろん、住宅の建設や維持、廃棄に使うエネルギーが最小限で済むということ。それは長い目で見た時にコストが低く、また環境にも優しい住宅であるとも言えます。

工務店が集まることはさまざまなかつて、それが建材の共同購入です。TSEとして一括発注することで、質は下げるにコストダウンができる。その分をお客様に還元することができます。また、高い省エネ性能住宅は、普段は同じエリアのライバルとして切磋琢磨する工務店が集まることで生まれたのです。『香川県は近い未来、日本一良質な住宅が建ち並ぶ県になる』すでに一軒軒着実に実現へと近づいています。



リビングから庭へとつなぐデッキがあり開放感抜群。
外付けブラインドで夏の日射遮蔽も効率的にできます



ロフトのある子ども室。吹き抜けのある大空間でも、家中どこにいても温度差がなく快適なのは、高性能住宅ならでは



趣味のロック鑑賞を楽しむための、防音機能完備の音楽室。家族みんなで楽しむミニシアターにもなります



パッシオパッシブ

香川県丸亀市垂水町 3145-1
tel. 0877-28-2855
<https://passiop.com/>



家は街並みをつくります。私たちが進める街並みづくりプロジェクト「PASSIO PASSIVE Village」では、田園風景に併じむ超省エネ住宅を体感することができます。

佐藤大治さん

木の窓が叶える、心地良い住空間

パッシオパッシブ

TSE の生みの親である佐藤大治さんが代表を務めるパッシオパッシブ。いち早く省エネ建築の価値に気づき、18 年前から自社でも取り組んできました。佐藤さんが世界各國の視察をする中で、日本が省エネ建築の後進国であることに愕然とした経験から、パッシブハウスジャパンにも加盟。以来、変わることなく「住む人も環境にも優しい持続可能な家」を目指しています。「家を建てる時には、その未来も一緒に考えるべき」と佐藤さん。快適に低燃費で長く暮らせる家を建てるため、省エネ建築を追求する中で「窓の性能は、住宅の性能に直結する」ことを実感。現在はほぼ輸入に頼っている木製サッシを、なんと自社でつくるという答えにたどり着きました。

従来の住宅は、窓を大きくして室内に日射熱を取り込んで、その暖かさが窓を通じて外へ逃げてしまう矛盾が生じていました。そこで佐藤さんは木製トリプルサッシを採用し、世界最高水準の断熱性能を備えた「佐藤の窓」を開発。さらに家全体に付加断熱を施すことで、日射熱を最大限に取り込み、かつ熱を逃さない室内空間が実現しました。

パッシオパッシブでは、家づくりの際には設計士とインテリアコーディネーターがチームとなり、快適な住空間をつくります。住む人に合わせた豊かな暮らしを提案するなかでも、木が持つ温かみを最大限に活かすことができると人気の「佐藤の窓」。機能性とデザイン性を併せ持つ木製サッシのこれからに、目が離せません。

リビングからキッチン、奥の畳スペースまでつながる
ワイドな空間。床下に敷設した基礎蓄熱暖房で、
真冬でも冷たさを感じません



太陽の熱を室内に取り込むための窓。高気密なので
熱を逃がさず、寒い日でもエアコンなしで家中ポカポカ



調湿換気システムを採用し、洗濯は室内干しが基本。
脱衣所とクローゼットが隣接した便利な活動線



住宅密集地ながらテラスは広々。日射の取得・
遮蔽が容易にできる外付けブラインドも装備

西建住宅

香川県高松市鶴市町 102-6
tel.087-880-8461
<https://www.nishiken-design.com/>



大工をはじめ職人たちが徹底
した気密処理を行うことによっ
て、高気密な住宅が完成しま
す。弊社ではお客様立ち合
いの下、気密測定を行い、リ
アルな数値をお見せします。

西川力さん



住まい手を魅了する「帰りたくなる家」

西建住宅

さらに広がる高性能住宅の可能性

ビートルズの名曲「Eight Days A Week」から着
想を得て、「1週間に8日間帰りたくなる家」という意味
の「+1Day」をコンセプトにする西建住宅。代表の
西川力さんはこれまで、手がけるすべての家に心を行き
届かせて、一棟一棟丁寧につくりあげてきました。

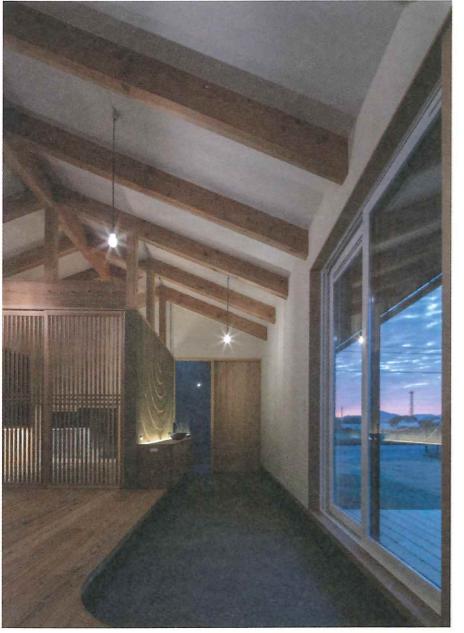
西建住宅が「一生快適に住み続けるための家」を追
求することになったきっかけは、西川さん自身が下請けで
大工をしていた頃の経験から。「こうした方が良いのに」
と疑問を感じても、仕様を勝手に変更できないもどかしさ
を感じていたところ、知人から「家を建ててほしい」と依
頼が舞い込みました。すでに建築士の資格も持っていたこと
で、図面を引くところから施工までをトータルで手が

けることに。その経験によって、住む人が本当に納得い
く快適な家を、自分の手でつくることのやりがいと責任
を痛感。下請けではなく、直接お客様とやり取りしなが
ら家づくりを手がける工務店へと、シフトしていきました。

TSE の設立時から活動を支える西川さん。長く住み
続けられる高性能住宅をつくる工務店として、常にリード
役であります。「まだまだ発展途上。性能の良さはもつ
と追求できるはず」と謙虚な姿勢を崩しません。すでに
多くのファンを抱えつつも、「自分が管理できる数だけし
か建てない」というポリシーも、家づくりに真剣だからこ
そ。デザインと性能、そして価格とのバランスを見ながら、
もっと快適な家をとチャレンジは続きます。



家の雰囲気に合う家具やキッチンはフルオーダーで製作。梁の直線と鉄製手すりの曲線が調和するインテリア



リビングにつながる洗い出しの玄関土間。玄関脇の和室には、オリジナルで製作した引き違いの格子戸を

玄関を開けると、インパクトのあるデザイン壁がお出迎え。左官職人が手作業で仕上げた美しい波紋に目が奪われます



樹工舎

デザインの粋に垣間見える職人技



外観は、向きの違う切妻が組み合わさった個性的なフォルム。玄関までの通り庭は飛石を配して和モダンに



経年変化を楽しめる無垢の木をできる限り使うなど、素材にはとことんこだわっています。照明や家具などのインテリアまでトータルで提案することで、住み心地の良さを追求しています。

矢野智大さん

樹工舎

香川県高松市東山崎町 195 番地
tel. 087-802-4649
<https://kikousha.jp/>



職人がチームで取り組む価値ある住まい

自らが大工だった経験から、「一番大切にしたいのは、職人が持つ技術をこの先も残すこと」という樹工舎の矢野智大さん。やっぱり家の価値とは、職人が魂を込めてつくり上げ、住まい手が大切に使うことで決まるといいます。

そんな価値ある家をつくろうと、職人が持てる技術を最大限に発揮するような家づくりをしている樹工舎。その実現は、矢野さんが確かな技術を身につけた職人たちと長年をかけて築いてきた信頼関係が基になっています。ものづくりに精通した職人たちは、伝統的な建築技術を備えつつ、矢野さんが柔軟な発想で描き出す空間のイメージを形にしていきます。その一つが左官仕事が活きるデザイン壁。いきいきと波打ち、鼓動を感じさ

せるような独創的な意匠は、住まい手と職人が家づくりに本気で向き合った証のようにも感じます。

樹工舎の家づくりへの姿勢やセンスに共感し、デザインと性能が両立する家を求める人は着実に増えてきました。「本物の建材と最高の技術をもってすれば、住む人と同じように呼吸して、長い年月をかけて成長していく家ができる」と矢野さん。そして住むほどに味わい深くなる家は、適切なメンテナンスをしながら育てていくことも必要だと話します。「価格以上の家を建て、完成した後に責任を持って見守ることも、地域の工務店の使命」という言葉通り、我が家のように1棟ずつ。丁寧な家づくりはこれからも続きます。



長い庇とそで壁が特徴的。リビングに面した壁は窓が多く開放的で、駐車場側から見ると外観が五角形に見えます



南側からはたっぷりと太陽光が降り注ぐリビングダイニング。
暖房をつけてなくても一日中ポカポカ暖かいのです



広々とした吹き抜けの階段。高断熱高気密住宅なので、空間が広くても一年中快適に過ごせます

無垢材の床に漆喰の壁の気持ちのいい室内。
奥には造作キッチンをオリジナルで設置



性能が高い家こそ、表情豊かで面白い



省エネ住宅なら、間仕切りを少なくしても快適な住空間ができるあります。機能性とデザイン性のどちらも妥協することなく、一生暮らせる家づくりをしていきましょう。

長尾賢さん

長尾賢建築設計事務所

香川県高松市東山崎町 251-2 1st 2F
tel. 090-8282-3647
<https://www.nagao-architect.com/>



もっと自由で快適な空間を目指して

住宅メーカーでの勤務を経て、2014年に設計事務所を開設した長尾賢さん。その独立と同時期に出席した建築のセミナーで衝撃を受けたことが、省エネ建築への興味へつながったそうです。「日本は先進国で、周辺の国と比べてもさまざまな分野で進んでいる国というイメージですよね。でも省エネ建築だけでいえばアジア圏でもかなりの後進国。その現実を知ったときに、それなら自分がやろうと思ったんです」と長尾さん。それまではお客様の思いを、設計やデザインの力で叶えることを一番に考えてきましたが、省エネ建築の構造を知れば知るほど、魅力に取りつかれてしまうのです。性能を追求しすぎるとデザイン面で制約が出

てくると思われがちですが、実はその逆。自由度が高くデザインの幅が広がるのも、高性能住宅の良さなのだと話します。

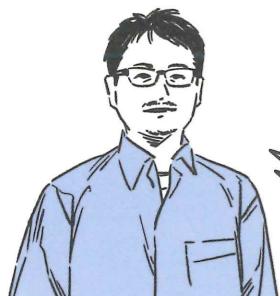
長尾さん曰く「家をつくるときに最も大切な一つは、住む人の思いや希望をきちんと聞くこと」。家は住む人にとって心地よい空間であるべき場所。だからこそ納得いくまで話し合いを重ねて、家が持つ機能性やデザイン性を充実させていくのだと言います。その上で職人の意見も聞いて、家づくりを多角的にどうぞいきます。その言葉通り、長尾さんが設計する家は、高性能で住み心地が良くて、表情豊か。長く愛される家になるようにと思いを込めて、家づくりに向き合っています。

性能とデザイン、どちらも大切にしたい

「お家で過ごす時間が増えました」
 「家に帰るのが楽しみなんです」
 「暑さ寒さのストレスから解放されました」
 これらは、ハウスプロジェクトが手掛けた家で暮らす方たちから届く声です。
 「家に合わせるのではなく、暮らす人それぞれに合った住まい」を届けるため、既成の「LDK」という決まった形で考えるのではなく、理想の暮らしやライフスタイルから住まいを発想していきます。例えば、子どもが小さな時期には個室を作らず、オープンな空間でのびのびと育て、そして大きくなれば家具で仕切ったり間仕切りを加えればいい。開放的で自由な空間を基本に、家族の成長に合わせて自由にコーディネートできるよう、最初にあえて作り込まれないことで、時と共に環境が変化しても、フレキシブルに対応できるような家を提案しています。

また、長く住まう場所だからこそ、暑い寒いのストレスがなく、快適で安全な住環境を届けたい。そんな思いから、性能とデザインのどちらも両立するような、耐震性や耐久性、省エネ性に優れた高性能な住まいにこだわっています。

そして「家は買うものではなく一緒につくるもの」と、建築中の我が家の中庭をお客様自らが漆喰で塗ったり、デッキの色を塗ったりなどの楽しい取り組みも。楽しい想い出になるとともに家への愛着もより一層深まっていくはずです。



鹿庭洋介さん

漆喰や珪藻土など、内装には自然素材の塗り壁をオススメしています。お客様と一緒に塗ることも多く、コスト削減はもちろん、家族みんなで頑張った記念になると好評です。



市街地に建つこちらの住まいは、プライバシーに配慮した中庭スタイル。シンプルで飽きのこないデザインも特徴の一つ



中庭テラスではプール遊びやガーデニングをしたり、コーヒー片手に寛いだり。家で過ごす時間が楽しくなる場所です



造作キッチンの隣には、タタミスペース。お子さんの遊び場所や書斎として使われています

ハウスプロジェクト

個性があるから面白い。十人十色の家づくり



無垢の木や漆喰に囲まれた心地よい空間。キッチンや家具は職人の造作。漆喰の塗り壁は、施主も参加して一緒に塗るのがハウプロスタイル

ハウスプロジェクト

香川県高松市松縄町 1019-22
 tel. 087-802-9060
<https://houseproject.co.jp/>





周囲の景観にじむ二世帯住宅の平屋は、片流れの屋根が特徴。グレーの塗り壁に映える鎧貼りがアクセント



白のタイルと連続したレッドシダーの天井で造作した、浴室と洗面室。スペース全体に統一感があります



すべて無垢材で仕上げたキッチン。ステンレスの天板のサイズや引出しの高さまで、入れるものに合わせた完全オリジナル



川西工務店

ゆるやかに繋がる、それぞれの毎日



家づくりの途中には、いろんな疑問が出てきます。そんな時に気軽に聞いてもらえるように、施主ご夫妻とLINEグループをつくることも。ベストな家にするためにはチームワークも大切です。

川西真樹さん・直子さん

川西工務店

香川県さぬき市長尾東 2361-2
tel. 0879-52-6065
<https://www.kawanishi1.com/>



心強いサポートで家づくりのプロセスも楽しめる

「これから長く暮らす家だからこそ、夫婦それぞれの希望を共有し、みんなが満足いく家のカタチを考えること」を大切にしている川西工務店。そのため家づくりの打合せには必ず夫婦で参加してもらい、川西さんも夫婦で同席するスタイルを取り入れています。一級建築士としての専門的な切り口で舵を取る真樹さんに対し、奥様の直子さんの意見は主婦目線で実用的。使いやすいコンセントの位置など、住み始めた後の生活のことを考えた細やかな提案も次々に繰り出され、お客様が全幅の信頼を寄せるというのも納得です。

無垢材や漆喰などの自然素材を使い、安心して暮らせる長期優良住宅にこだわり、デザインだけを追求する

のではなく、必ず性能面もセットで提案。住む人が暑さ寒さのストレスを感じにくい優しい家になるよう、気密測定や燃費計算を全棟で行っています。10年、20年と歳月を重ねれば、やがて風景の一部になるように、周囲の景観にも配慮したシンプルながら品がある平屋得意。「もう一つのリビング」とよぶ庭が開放的な雰囲気を醸し、周囲の環境と調和しながら暮らすことの心地良さを感じさせてくれます。

家は人生の中でも最も大きな買い物の一つで、思いが強い分だけ不安を感じることも。そんな時も、温かな雰囲気の川西夫妻にあれこれ相談しながら家づくりができれば、とても心強いたいありません。

TSE

耐震・省エネルギー・エコロジー住宅を創る 工務店ネットワークかがわ

性能にこだわり、志のある工務店や設計事務所の集まりです。

耐震、省エネルギー、エコロジーの3つを柱に、

住む人が本当に心地よく過ごすことのできる住まいを提供します。

T

耐震

住宅は、命を守るシェルターです。決して人の命を奪うことがあってはなりません。私達は、「耐震診断」や「耐震改修」を社会に広め、積極的に取り組んでいます。

S

省エネルギー

住宅建築業を通じて地球環境に貢献したいと考えています。それには、住宅の省エネ化が不可欠で、新築なら次世代省エネルギー基準以上の建物を、リフォームするなら省エネリフォームを推奨しています。

E

エコロジー

住宅建築業を通じて循環型社会の実現を目指します。古材の積極的な活用や、カーボンニュートラルの薪ストーブの採用など、環境負荷の低い家づくりを追求しています。

[TSE 合同見学会を随時開催]

TSE に加盟する各社が建てる家を、随時見学会として公開しています。

スケジュールなどの詳細はホームページに掲載しています。

<https://www.tse-kagawa.info/>



edited by

IKUNAS
FLAVOR OF LIFE